

システム会社今年の一歩

業界のスキルアップを後押し

タツブ 設立30周年迎え新たな事業領域に

タツブ(東京都江東区)はこれまで全国で650以上の施設で採用実績を持つ。同社では今後、「予約チャネルとの接続性の向上、中でも海外サイトとの連携性の強化」、「ホテル利用者と口コミデータとの連動による、レジャーシーンマネジメントとPMSとのつながりを強化」、「英語対応・外貨対応等の新POS開発」の開発を進めていくという。



タツブ代表取締役 清水吉輝氏

に44名を配置しており、常に顧客とのコミュニケーションを図ることで、効果的なシステム利用を促す、顧客のニーズに迅速に対応できることが同社の強みの一つだといえます。 御社は今後の方向性に「グローバル化」と「テクノロジー」を挙げています。 清水 今後は基幹システムはもとより、周辺システムにも力を入れていきます。国内PMSは、チャネルコントロールとの連動がきるようになり、レベニューマネジメントなどの分析が容易になりました。今後は海外ホテル・OTAとの連動ができるように進めていきたいと考えています。 インバウンドの増加によって、海外のホテルブランドや海外OTAの進出は、基幹システムに



▲昨年行われたタツブユーザー会

とつても変化が求められています。つまり世界標準の連動の仕組みを作っていくことが重要になってくるのです。いちはやくグローバル化に対応できるかが、基幹システム会社にとって勝負になってくるでしょう。 今年からは海外施設への提案も積極的に行っていきます。 清水 今年開業する「星のやパリ」に導入を予定しているほか、ワールドワイドチェーンホテルも検討していただいています。

AIの可能性探る スタッフの負担軽減 野では、AIに代表されるように日々進化しています。 清水 現状では話題性だけが進行していますが、ホテルシステムでもAIによって運営が大きく変わる可能性があります。特にレベニューマネジメントに関しては、より膨大な情報集積と、細かな

分析により、より詳細な需要予測が可能になるでしょう。スタッフの経験や勘に頼っていた部分もAIが賅うようになれば、スタッフの負担も軽減し、他の部門にマンパワーを集約できるようになるでしょう。 ーロボットも注目分野です。 清水 AIとロボットの進化によって、例えば「フロントカウンター業務」、通訳・周辺案内などの「コンシェルジュ」、荷運び・清掃補助などの「バック部門労働補助」などが容易になるでしょう。実はAIと旅行業界との相性は非常にいいものがあります。アナログな業界ほど化学反応が起きやすいからです。当社としても現在、人型ロボット「Pepper」を開発したソフトバンクロボティクスと、東大発のベンチャー企業リアルグロープとの共同で、PMSと直結したゲストサービスを考えています。今後は、施設運営の効率化、省力化はますます進んでいくことは間違いありません。そのため周辺ソリューションとのインター

フェイスを柔軟に対応できるように、開発力や人材を高めていきたい。 人材教育を支援 ー今年は御社にとって設立30周年の節目に当たります。 清水 特に30年というところで大きな変化はありませんが、今後も何かしら業界に貢献できるような事業に取り組んでいきます。特にホテル業界では、人材の育成はずっと大きな課題です。当社では以前から「タツブアワード」も主催していますが、より一層人材育成には寄与していきたいと考えています。具体的には、専門学校等の教育機関との連携や、人材育成のためのセミナー等を通して、ホテル関係者のスキルアップに貢献したいと考えています。



▶大手ホテルチェーンでの実績多い

レベニューマネジメントなどの分析が容易になりました。今後は海外ホテル・OTAとの連動ができるように進めていきたいと考えています。 インバウンドの増加によって、海外のホテルブランドや海外OTAの進出は、基幹システムに膨大な情報集積と、細かな分析により、より詳細な需要予測が可能になるでしょう。スタッフの経験や勘に頼っていた部分もAIが賅うようになれば、スタッフの負担も軽減し、他の部門にマンパワーを集約できるようになるでしょう。 ーロボットも注目分野です。 清水 AIとロボットの進化によって、例えば「フロントカウンター業務」、通訳・周辺案内などの「コンシェルジュ」、荷運び・清掃補助などの「バック部門労働補助」などが容易になるでしょう。実はAIと旅行業界との相性は非常にいいものがあります。アナログな業界ほど化学反応が起きやすいからです。当社としても現在、人型ロボット「Pepper」を開発したソフトバンクロボティクスと、東大発のベンチャー企業リアルグロープとの共同で、PMSと直結したゲストサービスを考えています。今後は、施設運営の効率化、省力化はますます進んでいくことは間違いありません。そのため周辺ソリューションとのインターフェイスを柔軟に対応できるように、開発力や人材を高めていきたい。 人材教育を支援 ー今年は御社にとって設立30周年の節目に当たります。 清水 特に30年というところで大きな変化はありませんが、今後も何かしら業界に貢献できるような事業に取り組んでいきます。特にホテル業界では、人材の育成はずっと大きな課題です。当社では以前から「タツブアワード」も主催していますが、より一層人材育成には寄与していきたいと考えています。具体的には、専門学校等の教育機関との連携や、人材育成のためのセミナー等を通して、ホテル関係者のスキルアップに貢献したいと考えています。